

第1次案内

【主催】 民主教育研究所教育課程研究委員会

みんなけん公開研究会のお知らせ

原発・震災問題を 子どもと学び合う

— 「3.11後」の授業と教育課程の提案 —

「安全神話」に踊らされていた原発問題……

ただただ「想定外」が、強調された地震・津波災害問題……

いのちと健康・財産を守ることが、できなかった今回の天災と人災

これまでの学びって、一体 何だったのでしょうか？

改めて、学びの価値と意義を問い直したい！

生きる希望を育む“ほんと”の「生きる力」をめざしましょう！

□と き：2011年12月23日(金) 休日

午後1時～5時

□ところ：エデュカス東京・3F会議室

JR市ヶ谷駅下車 徒歩5分、地下鉄有楽町線 麴町駅下車 徒歩1分

報告者

① 中村秀夫 (ジャーナリスト)

「子どもは現実をどう受け止めているか — 福島・原発周辺の地域から」

② 滝口正樹 (東京・公立中学校)

「この2学期に原発・震災問題を、こう学び合った」

② 鎌倉博ほか(和光小・和光鶴川小学校)

「被災から復興めざす人々を教材化して」

④ 梅原利夫 (民研・運営委員)

「“3.11後”の授業と教育課程の模索」

☞ どなたでも参加できます。

資料代：500円をお願いします。

【連絡先】 民主教育研究所 TEL03-3261-1931 Fax03-3261-1933